

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
25	市川 真未（3）	<p>1. 客船寄港歓送迎イベントの経済効果について  今年4月17日と5月5日に外国クルーズ客船「スターブリーズ」が田子の浦港に寄港。アメリカから約600人のサイクリング愛好家が来訪し、歓送迎イベントが開かれた。定住人口1人と80人の日帰り旅行者は同等の経済効果と言われており、今回の寄港は、7人から8人の定住人口を呼び込んだことと同等の経済効果が期待されるが、この寄港に当たっては、公費支出のほかに、消防音楽隊の演奏や、多くの市職員の労力も注がれており、それに見合った成果が見られたのか、今後のために検証が必要と考え、以下質問する。</p> <p>(1) 港以外へ足を運んでもらうための仕掛けや、サイクリング経路への誘導などをどのように行ったのか。</p> <p>(2) スターブリーズ歓送迎イベント等に当初予算で292万5000円が計上されているが、市民にとって、その金額に見合った経済効果があったと言えるか。</p> <p>(3) 今回の寄港を契機として、今後どのようなアプローチをしていくか。</p> <p>2. 消防団員向けの火災発生連絡について  今年1月より同報無線での火災発生報がなくなり、現在は、消防団出動要請はメールで行われている。令和5年2月定例会の一般質問の中で消防団員向けアプリの導入検討が示唆されたが、このことについて以下質問する。</p> <p>(1) 出動指令の夜間訓練が必要であると思うがいかがか。</p> <p>(2) 消防団員向けアラート付アプリの導入スケジュールについて。</p> <p>3. 行政から始める業務効率化と働き方改革について  行政の窓口は近年改善されてきているものの、いまだに待ち時間が長く、様々な関係課を横断する必要があるなど、市民にとっても市職員にとっても時間も労力もかかり、不満を感じている市民は少なくないと感じる。</p> <p>様々な市民の声に対応している市役所だからこそ、そんな声を可視化することにより、業務改善やサービスの向上を図れるのではないか。</p> <p>デジタル庁では、自治体窓口DXを推進することで、地方自治体における「書かない、待たない、回らない、ワンストップ窓口」を実現し、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を目指すとしている。マイナンバーカードを利用した申請書作成ソリューションや、チャットやメールの活用が十分に進めば、市役所にわざわざ来庁する手間が省け、市民満足度の向上と市職員の負担軽減が図れる。</p> <p>また、市民の働き方改革に関しても、市役所がモデルケースとなり、さらなるDXを進めるなど、先駆けて市民の見本となる姿勢が大切である。コロナ禍はテレワークを後押ししたが、新型コロナウイルスの感染症区分が5類に引き下げられ、生活や仕事上の制限がなくなってきた今だからこそ後戻</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
25	市川 真未（3）	<p>りせずに、テレワークの推進やフレックスタイム制の拡大、副業・兼業人材の活用など、市職員の働き方改革をさらに進めるべきと考え、以下質問する。</p> <p>(1) 市役所窓口での市民の声や苦情を視覚化し、改善を図っているか。</p> <p>(2) ワンストップ窓口について、本市ではどのように取り組んでいるか。</p> <p>(3) 本市では今月よりChatGPTをはじめとする文書生成AIの活用を始めたとのことだが、どのような効果が期待されるか。</p> <p>(4) 本市ではどのような働き方改革に取り組んでいるか。</p>	市長 及び 担当部長